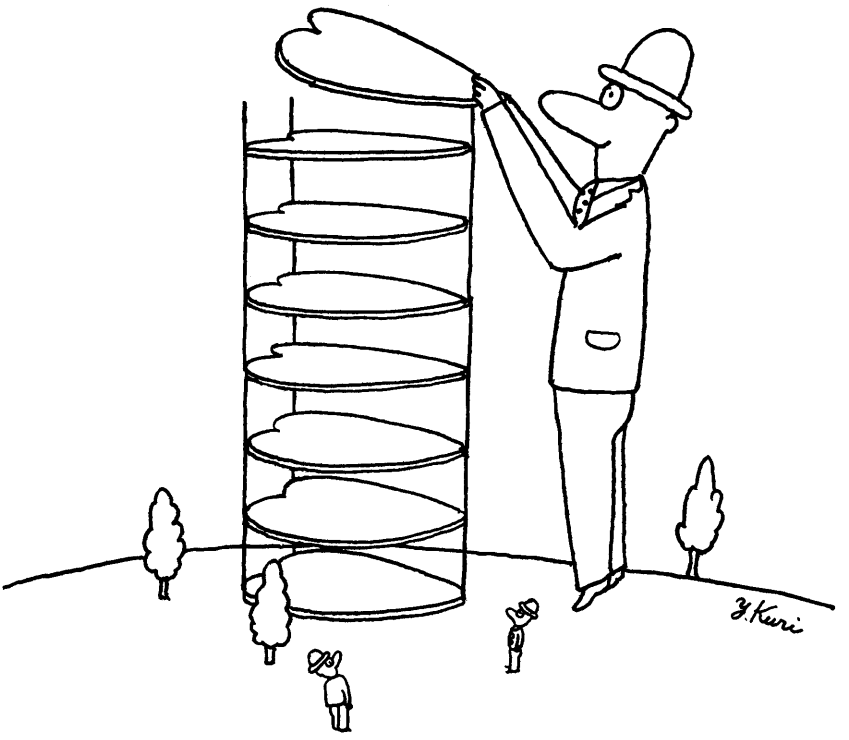
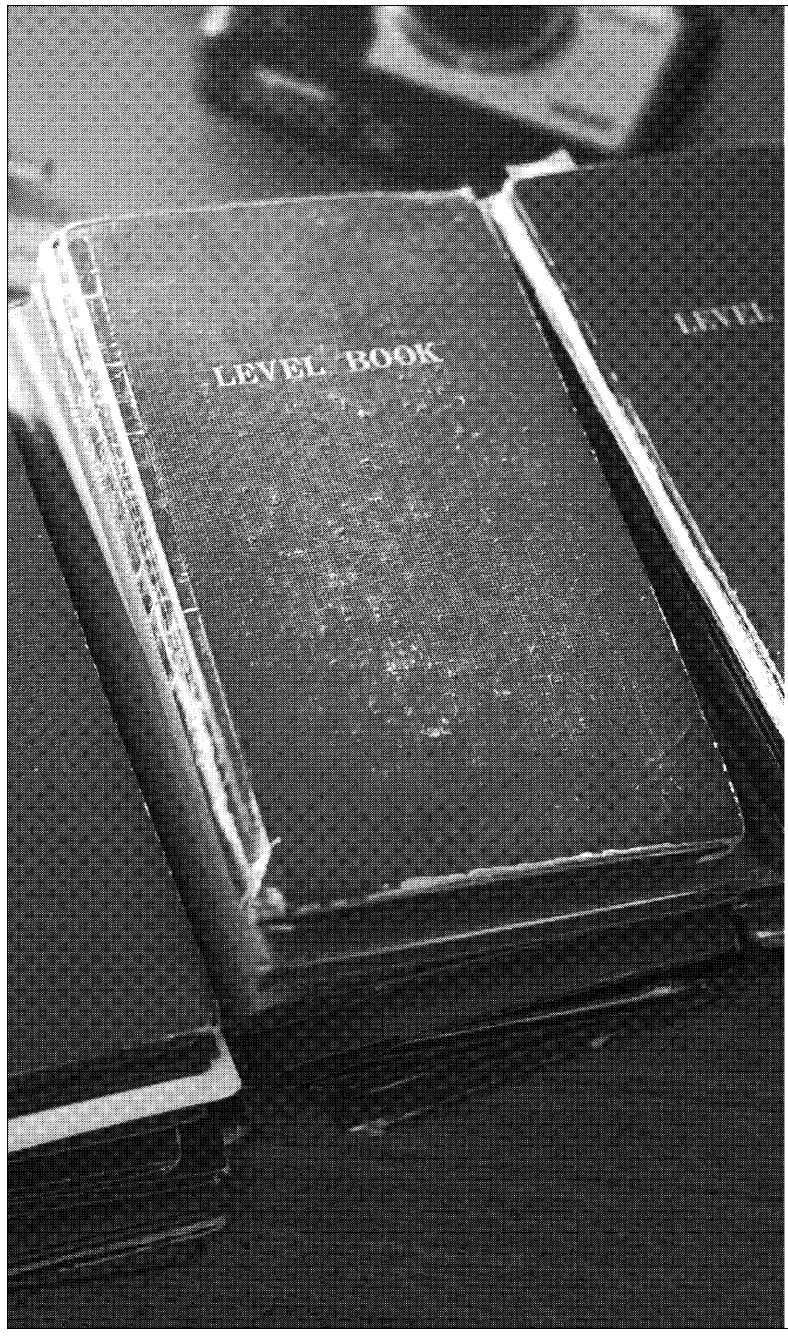


「私たちは築くのは、
「ごころ」です。」



今、人は地球について考えています。
そして、自然のことを想っています。
地球があって、緑にあふれ、人々が生活する。
私たちはそんな基本的なことから考えたい。
私たちのふるさと・地球にやさしい技術の確立。
熊谷組の変わらぬテーマです。

—人と地球の未来を考える—
熊谷組
KUMAGAI
本社 ● 〒162-8557 東京都新宿区津久戸町 2-1 TEL.03-3260-2111
ホームページ URL <http://www.kumagagumi.co.jp>



未来を夢みる、という使命。
確かな技術と、積み重ねた経験、豊かな人間力で、
新しい価値の創造を目指す安藤ハザマ。
社員が皆、建設現場へ出る際に携帯する手帳、通称「野帳」。
測量数値や連絡事項、上司からの貴重なアドバイスなどを
書き記すその手帳は、使い切った役目を終えたら「宝物」となる。
あるベテラン社員は、「これは自分の歴史、財産」と言い。
ある若手社員は、「最初はすぐに使い切っていた。
でも今は1か月はもつ」と、野帳に自分の成長を見る。
未来を夢みる一人ひとりの思いが、ひらめきが、
今日もどこかで、小さな野帳に記されていく。

安藤ハザマ
HAZAMA ANDO CORPORATION
東京都港区赤坂六丁目1番20号 TEL:03-6234-3600(代表)
<http://www.ad-hzm.co.jp/>

引き継ごう

震災被害の修復・復興

建設産業

熊本地震の報道映像で、熊本城や阿蘇神社などの有名な歴史的建造物の無残な姿を目にして、大きなショックを受けた人は少なくないであろう。歴史的建造物はわれわれの貴重な文化遺産であり、後世に伝えていかなければならず、そのためには災害対策は不可欠となる。阪神淡路大震災、東日本大震災など、ここ20年の大災害の経験から、歴史的建造物の防災研究は、急速に進展しており、その一端を紹介する。

文化財保護法からドクター派遣事業まで

法隆寺火災
戦後すぐの1949年1月26日に、修理工事中の法隆寺金堂が火災にあい、壁画が焼損した。それをきっかけに文化財の防火意識が高まり、50年に制定された文化財保護法では、文化財建造物には防火設備の設置が義務づけられ、55年には1月26日が文化財防火デーとして定められた。しかし、これは火災への対応のみであり、地震や他の災害に対しても対応はほとんどなかった。また、構造補強などで、文化財建

造物の当初の姿に手を加えることは、文化財の価値の基準である「オーセンティシティ(真実性)」を損なわせる行為として、消極的な意見も少なくなかった。しかし、95年1月17日に発生した阪神淡路大震災が転機となり、歴史的建造物の総合的防災計画や災害時の対応について、活発に検討されるようになった。

データベース

阪神淡路大震災では地震による倒壊や地震後の火災による焼失はもろろんのこと、倒壊・焼失しなかった建造物でも損傷を受けたものに対する配慮はほとんどなかった。また、構造補強などで、文化財建

保存技術研究

この時の経験から、自然災害から歴史的建造物を守るために、前もって方策を講じる必要があると考えられるようになった。発災直後、歴史的建造物の所在が不明であったため被災調査が進まず、対応が遅れたために、重要文化財の修復工事で、構造や防火など、建築史以外の分野でも、歴史的建造物に特化した技術的研究が行われるようになった。最新の技術を用いた保存に活用することには「レトロフィット」と呼ばれ、例えば、11年3月11日に発生した東日本大震災では、歴史的建造物を取り巻く環境の変化から、新たな問題も生ずるようになった。



ヘリテージマネージャーの調査風景(大津町)



阿蘇神社(重要文化財)の被害



木造建築の被害(阿蘇市旧庄屋)



土蔵の被害(富合町)

被災状況

東京家政学院大学
教授・博士(工学)
大橋 竜太

JIRO
PROFESSIONAL ORIGINAL & TOOLS
鉄骨建築・橋梁・建設工具
軸力計・トルクレンチ・検査・校正
電動ジョーレンヂ・販売・リース
ジロ一株式会社 検索
<http://www.jiro-kk.co.jp>
TEL 06-6541-5496

「建設品質」

佐藤工業は1862年に創業。
これまで「建設品質」をキーワードとして、
安心・安全で快適な空間の創造、
良質な社会基盤の整備に
取り組んでまいりました。
その長い歴史の中で脈々と
受け継がれてきたのは、
確かな技術と情熱に裏打ちされた、
建設人としての誇りと使命感です。
これからも私たちは、
夢のある未来社会の実現に向けて、
時代とともに歩み続け、
豊かな地球環境を築くため、
さらなる飛躍をめざしてまいります。

—総合建設業/創業1862年—
佐藤工業株式会社
<http://www.satokogyo.co.jp>

駅をつくる、道をつくる、街をつくる
現場のチカラ
東北縦貫線北部工区
鉄建
信用と技術の
〒101-8366 東京都千代田区三崎町 2-5-3 | Tel.03-3221-2152